

地域密着型通所介護「リハビリデイサービスまな」

運営推進会議 議事録【第8回】

日時：令和2年2月12日（水） 16：35～17：15		場所：リハビリデイサービスまな機能訓練室			
ご利用者様 A様	地域代表 C様	高齢者総合センター 室 様	代表 山田誠一郎	事業所職員	
ご家族様 B様		武蔵野市職員 野村 様	相談員 高橋 徹	事業所職員	
◆議題			◆議事内容		
<p>1. 利用状況について（R2年1/1現在）</p> <p>利用者の年齢分布 男女比</p> <p>介護度分布 1週間の利用回数</p> <p>利用年数 家族構成</p> <p>利用中止理由について 等</p> <p>2. まなの活動内容</p> <p>レッドコードでの体操・マシントレーニング・理学療法士による個別機能訓練を実施。</p> <p>3ヵ月毎に体力測定で運動評価を行うが、1年前の数値との比較結果を公表</p> <p>利用者の体調等、最近の傾向について。</p> <p>3. 課題</p> <p>4. ご意見・ご要望</p>			<p>1. 登録者数がやや減少したが、年齢構成は80代が6割と、あまり変わっていない。男女比は少し男性が多くなり、男性の多さは引き続き特徴的と言える。総合事業の対象者が減少傾向。家族構成の点では独居・夫婦のみ世帯合わせて6割となり、家庭内介護力の低下傾向は窺える。利用中止の理由として個々の事情があるが、それぞれの理由の根底に「身体機能の低下に伴う運動意欲の減退や運動適応への自信喪失」があり、各々の意欲に応じたプログラム構成を検討の上、中止者の抑制が課題と言える。</p> <p>2. 活動内容に大きな変更は無い。年明け気候の変化もあり、体調不良での欠席は多くなっている。利用者でもお一人インフルエンザでの欠席が出た。</p> <p>3. 感染症の世界的な流行もあり、日常的な感染予防への対応が求められる。手指消毒・加湿等の基本を徹底して行うと共に、利用者への予防の啓発を進めていく必要がある。総合事業の1.5時間でのサービス提供が採算に見合わない状況となり、4月を目途に基本3時間のみの利用への移行を予定。それに伴う利用者・CM等への対応を迅速に進めていく必要がある。</p> <p>4. デイ利用に不安があったが、運動と共に他の方と接する機会が出来て明るくなった。運動デイとしての「まな」の認知度を上げた方が良い。PTが在勤している点は強味であると思われる。その点をもっと発信した方が良い。感染症への対策は当面必要と言えるので、引き続き対応を進めてほしい。 等</p>		